

第4回法務省契約監視会議議事概要

開催日 平成27年3月17日（火）及び同19日（木）
座長の判断により持ち回り（書面による回議）開催

委員 大曾根 匡（専修大学教授）
柿原 理一郎（フジテレビ報道局解説委員）
宮園 久栄（東洋学園大学教授）

議事等

第1 平成27年度法務省調達改善計画（案）について

1 平成27年度法務省調達改善計画（案）の説明と質疑

「平成27年度法務省調達改善計画（案）」について、各委員に説明を行い、質疑及び意見が付された。

○（質問）一者応札については、業務の内容が複雑でその内容を把握できない業者は申し込めなかったり、特許が関係するものもあるので、特許があるものとないものとで分けて調達し、また、仕様の見直しや明確化を図ることで一者応札を改善することができるのではないか。

○（回答）個別に精査した上、調達内容等を見直すことなどにより、可能な限り競争性を確保するなどして、引き続き調達の改善を図っていくこととしたい。

○（質問）平成27年度からの新規取組は何か。

○（回答）重点的な取組として、情報システムに係る調達において、一者応札となった案件につき、その原因の分析にCIO補佐官の知見を活用すること及び少額随意契約可能案件において、案件に応じてオープンカウンター方式による見積合わせを検討し、実施することを新規取組として取り入れている。

○（質問）オープンカウンター方式による見積合わせとは何か。

○（回答）通常の見積合わせとは異なり、発注者が見積りの相手方を特定しないで、調達内容・数量等を公示し、参加を希望する者から広く見積書の提出を募るものである。

○（意見）今後も適切に調達改善の取組の推進をお願いしたい。

2 平成27年度法務省調達改善計画（案）の承認

平成27年度法務省調達改善計画（案）について、各委員の承認を得た。

第2 次回日程及び議事について

1 次回日程

平成27年6月開催予定

2 次回議事内容

- 法務省において締結した契約のうち、重点審議案件についての審議
- 平成26年度法務省調達改善計画の年度末評価について